

1. 略歴

1980年3月	東京大学文学部東洋史学専修課程卒業
1983年3月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（東洋史学）
1988年9月	東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学（東洋史学）
1988年10月	茨城大学教養学部専任講師
1989年4月	同 助教授
1993年4月	東北大学大学院国際文化研究科助教授
1997年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授（1997年度は東北大学大学院と併任）
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2010年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

イスラーム法、法学ハディース

b 研究課題

法学に関わるハディース（預言者ムハンマドの言行の記録）の形成過程を研究している。

c 概要と自己評価

最近の5年間は、法学的な内容を含むハディース（預言者伝承）に関する英文による大部の著作の執筆に専念していたために、研究業績はほとんどなかった。しかし2018年5月にその出版が決定した。

d 主要業績

(1) 論文

柳橋博之、「洗浄用の水をめぐる法学説とハディースについて」、『西南アジア研究』、85号、1-17頁、2016.10

(2) 解説

柳橋博之、「学界回顧2016、東洋法制史」、『法律時報』、88(12)、2016.11

柳橋博之、「学界回顧2016、東洋法制史」、『法律時報』、89(13)、2017.11

(3) 学会発表

国内、柳橋博之、「イスラーム法とハディース（預言者伝承）」、日本オリエント学会第59回大会、東京大学、2017.10.28

国際、柳橋博之、「Statistical analysis of isnāds as a method for determining the provenance, and the currency in time and place, of legal rules in the 8th century CE.」、Hadith and Law in Early Islam, A Workshop of the LAWALISI project、エクセター大学、イギリス、2017.11.27

(4) 会議主催(チェア他)

国内、「日本オリエント学会第59回大会」、実行委員長、2017.10.28～2018.10.29

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、一般社団法人日本イスラム協会、代表理事、2016.4～

日本中東学会、評議員、2016.4～